

## INSECTS Wind Ensemble

1985年に千葉大学管弦楽団出身者を中心として結成された木管アンサンブル団体です。団体名「インセクツ」は音楽の「虫」に由来し好きな音楽を演奏するという目的のもとで年1回の定期演奏会を主な活動とし、木管3重奏から16重奏まで多彩な編成のプログラムを展開しています。2006年にはドイツ演奏旅行（エンディング市音楽祭等参加）に赴き、アマチュア音楽国際交流にも貢献しました。演奏履歴は延べ100曲超にのぼり、代表的な大編成の演目には、ドヴォルザーク管楽セレナーデ、モーツァルトのセレナーデ「グラン・パルティータ」、リヒャルト・シュトラウスのセレナーデ、13管楽器のための組曲、ソナチネ第1番、同第2番などがあります。創設以来、当時千葉大学管弦楽団トレーナーでもあった菅原眸先生を音楽監督としてお迎えし、永らく御指導頂いて参りましたが、創立30周年を節目に、新たに磯部周平先生を御指導にお迎えしたことを契機に、新しい可能性を求めて活動していくこととなりました。今年には磯部先生が海外のオーケストラ長期支援事業でベトナムに滞在されているため、中川先生を紹介いただきました。

### 中川 鉄也（指導）

クラリネット奏者。東京音楽大学及びドイツ国立フライブルク音楽大学を卒業。三島勝輔、大森勇、磯部周平、D・クレッカーの各氏に師事。フリーの演奏家として各地のオーケストラに客演するほか、ソロリサイタルの開催、多数の放送・録音などに携わる。管楽アンサンブル「The OVATION」主宰。学生や市民オーケストラなど幅広い層への指導も行なっている。銀座山野楽器講師。

### 磯部 周平（指導）



13歳でクラリネットを始め、平井哲三郎氏に手ほどきを受ける。東京芸術大学を経て1976年同大学院修了。卒業後村井祐児氏およびR.イエッテル氏に師事。東京交響楽団首席奏者を経て1983年NHK交響楽団入団。1988~89年ベルリンに留学、A.プラントホーファー氏に師事。1994年首席奏者就任。ソリストとして、2003年N響定期公演でのニールセン協奏曲(指揮H.プロムシュテット氏)を始め、N響、東響、東フィル、ポーランドポメラニアフィル他多くのオーケストラと協演。また東京での15回の自主リサイタルを始め国内外各地にて多くのリサイタルを行う。室内楽奏者としても、聖三一合奏団、ピアノと管楽五重奏団『織笛(おるふえ)』他多くのアンサンブルに参加。東京芸術大学、武蔵野音楽大学講師等を歴任、現在は東邦音楽大学特任教授。日本クラリネット協会理事。日本合唱指揮者協会会員。

### 菅原 眸（音楽監督）



法政大学在学中よりファゴットを始め、中田一次氏に師事。その後東京芸術大学に入学、卒業後NHK交響楽団入団。在団中にドイツ・デトモルトの北西ドイツ音楽大学でA.ニグ氏に師事する。N響ではコントラファゴット名手として、また「ひげ」の名物ファゴット奏者としても鳴らした。退団後、愛知県立芸術大学教授に就任、後進の指導にも力を注ぐ。1999年愛知県立芸大定年退官、2004年東京音楽大学講師退任。現在は日本ファゴット(バスン)協会会長を務める傍ら、千葉大学管弦団、東京大学音楽部管弦楽団など多数のアマチュアオーケストラの指導にもあたっている。ハルモニア合奏団、ひとみ木管5重奏団の音楽監督、2011年より志賀高原音楽祭音楽監督就任。同年よりInternational Double Reed Society(国際ダブル・リード協会)にて副理事長(Second Vice President)就任。保谷混声合唱団にもテノール歌手として在籍、幅広くご活躍。

### ルーテル市ヶ谷センター

〒162-0842 東京都新宿区市ヶ谷砂土原町 1-1  
TEL 03-3260-8621 FAX 03-3260-7510  
E-mail info@l-i-c.com

#### ◆各線 市ヶ谷駅下車◆

|         |   |      |     |     |    |    |
|---------|---|------|-----|-----|----|----|
| ◎ J     | R | 総武線  | 地上  | 出口  | 徒歩 | 7分 |
| ◎ 都営地下鉄 |   | 新宿線  | A1  | 出口  | 徒歩 | 7分 |
| ◎ 東京メトロ |   | 有楽町線 | 5,6 | 番出口 | 徒歩 | 2分 |
| ◎ 東京メトロ |   | 南北線  | 5,6 | 番出口 | 徒歩 | 2分 |

